

買い物支援事業が

スタート



▲ころばん体操の様子



▲宮園集落のみなさん

大崎町社会福祉協議会（以下、社協）が『買い物支援事業』を立ち上げ、事業プランの一つとして、ころばん体操参加者と移動販売のニーズをマッチングしたサービスが始まりました。今回は、宮園集落と牧之内集落に取材に行ってきました！

なぜ買い物支援？

社協は、集落単位で実施されている『高齢者ふれあい・いきいきサロン』を36か所訪問し、買い物や通院の方法について、調査や、運転免許証の自主返納など意見交換を行いました。

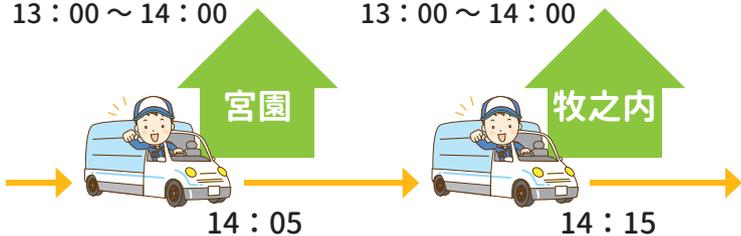
そこで見えてきたことは、現在、運転をしている方の中に「事故が怖い」「車がないと不便」「将来、運転をしなくなった時に、今住んでいる地域で生活を

できるのか不安」と感じている方が多くいること、買い物に不便を感じている方がいることでした。社協職員の新宮誠さんは、運転免許証の自主返納者数が増加傾向にある中、住み慣れた地域で生活するには、移動・買い物手段の確保は深刻な問題であると捉え、長期的な視点から、買い物支援事業を始めることにしました。

ルート(イメージ図)

体操 火曜日
13:00 ~ 14:00

体操 火曜日
13:00 ~ 14:00



利用の流れ(イメージ図)

